



関東各地が記録的な大雪に見舞われた翌日（2月9日）、平成25年度最後の第5回理事会が開催されました。今回は、その際の議事を中心にご報告いたします。

\*.-----.\*  
理事会・各委員会からのお知らせ  
\*.-----.\*

◆◆編集委員会◆◆

- ・学会誌の編集方針や査読の基準等を示す「編集方針」と、査読者向けの「査読に際してのお願い」を作成し、「査読用紙」をリニューアルしました。これらは、19巻1号の投稿論文から適用となります。
- ・「編集方針」は学会誌とホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。
- ・今年度は投稿規程の改定、オンライン投稿の開始、編集方針等の作成など、さまざまな変更を行いました。そこで一連の経過を説明し、皆さまの疑問にお答する機会として、「学会誌編集方針・投稿規程・査読プロセス」をテーマに、第19回学術集会にて交流集会を開催予定です。

◆◆研究・教育活動推進委員会◆◆

◇昨年11月に実施した「本学会会員における研究費申請・獲得に関する実態調査」は、配布1,014票、返信312票（回収率30.7%）、有効回答299票でした。

- ・後日、ホームページで概要を報告します。ご協力、ありがとうございました。
- ・この結果をふまえ、昨年12月、日本看護系学会協議会からの「科学研究費補助金の細目表」検討依頼に対して、細目「高齢者看護学」のキーワードとして、①認知症看護学、②エンドオブライフケア、③継続・連携看護学、の3つ、「時限つき分科細目表」として、①高齢者・障害者犯罪学、②ソーシャル・クオリティ、の2領域の採用を要請しました。

◇第19回学術集会開催前日、同会場にてワークショップを開催いたします。

詳細は、本メルマガ後半を参照してください。

#### ◆◆国際交流委員会◆◆

- ・ 海外招聘講演事業（第19回学術集会開催期間・同会場）

日 時：6月28日（土）15時10分開始予定

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち

講 師：Theresa A. Harvath氏（オレゴンヘルスサイエンス大学）

テーマ：Mental Health Care for Family Caregivers of Old People with Dementia

座 長：金川克子氏

皆さまのご参加を待ちしております。

#### ◆◆老年看護政策検討委員会◆◆

- ・ 2015年診療報酬改定の提案書提出に向けた認知症看護認定看護師・老人看護専門看護師への業務実態調査を、パイロットテストを経て2月1日より実施しています。
- ・ 調査票の届いている認知症認定看護師・老人看護専門看護師の皆さま、ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・ 本調査に先立ち「認知症チーム医療に関するシステムティックレビューとメタアナリシス」により、チーム医療のエビデンスの明確化も行いました。  
詳細は、第19回学術集会にて報告の予定です。

#### ◆◆論文表彰選考委員会◆◆

- ・ 今年度よりオンライン審査システムを導入し、審査の効率化を図ります。
- ・ 審査は3月に実施予定です。審査者となる役員の皆さま、ご協力をお願いいたします。

#### ◆◆生涯学習支援委員会◆◆

- ・ 来年度は、「基礎編」「実践編」に加え、「応用編モデル事業」を開催する予定です。
- ・ 「実践編」では災害支援やエンドオブライフケアに関するプログラムの充実を図ります。
- ・ 「応用編モデル事業」は認知症ケアの政策に関するテーマで今年の秋に企画を予定しています。
- ・ 各研修とも日程が決まり次第、メルマガ、ホームページにてご案内します。
- ・ 「基礎編」は地域ネットワークや評議員の皆さま協力を得て、全国各地での開催できる仕組みを検討しています。その一つとして、「生涯学習支援研修基礎編を地域で開催しよう」をテーマに、第19回学術集会にて交流集会を開催予定です。

#### ◆◆災害支援検討委員会◆◆

- ・ 災害時に活用できる高齢者支援のためのマニュアルづくりを進めています。
- ・ 生涯学習支援委員会と連携し、災害支援研修プログラムの作成にも着手しました。
- ・ 「被災地における連携・協働のとり方を考える：東日本大震災におけるさまざまな職種の活動より」をテーマに、第19回学術集会にて交流集会を開催予定です。

◆◆特別委員会：専門看護師・認定看護師活動推進委員会◆◆

- ・ まず、組織化の必要性の高い認知症看護認定看護師のネットワーク作りを推進します。
- ・ 名簿作成方法を検討し、認定看護師企画として第19回学術集会にて交流集会を開催予定です。

◆◆他団体関連活動：若手研究者ネットワーク◆◆

◇本学会の若手研究ネットワークの窓口である河野評議員・綿貫評議員より、活動状況をお知らせいただきました。

- ・ 日本看護科学学会の若手アカデミーの連絡担当も兼任していることから、西村ユミ先生（首都大学東京）とともに、今年の第33回日本看護科学学会学術集会において、交流集会『「JANS 若手アカデミー」の組織化—未来を創造・想像しよう！』（12月7日）を開催しました。
- ・ この集会では同学会の若手研究者である坂井志織さん（首都大学東京）と濱吉美穂さん（大阪市立大学）が話題提供を行い、今後の看護学を創造（想像）してゆける組織づくりの一步をめざして、参加者とともに看護学の未来を語り合いました。
- ・ 博士課程の大学院生、大学教員などを中心に60名近い参加がありました。
- ・ 今後、日本老年看護学会の活動として、日本看護科学学会等、他の学術団体とも連携しながら、若手研究者のネットワーク作りの現状確認、ニーズの把握、今後の活動の方向性の模索などを検討して参りたいと思います。

\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*

理事会・各委員会からのお知らせ

\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*.-----\*

- ・ テーマ：「老年看護研究における実践者と研究者の協働  
～介護施設での研究実践例から考える～」
- ・ 日時：2014年6月27日（金・学術集会前日） 17時～19時
- ・ 会場：愛知県労働産業センター ウィンクあいち
- ・ 主なプログラム：
  - 1) 介護施設において看護研究を実施するための方略～特別養護老人ホームで「より良い看取り」を実施するためのアクションリサーチの経験から～  
小山 千加代氏（東京女子医科大学）
  - 2) 介護施設において看護研究を実施する研究者に介護職員から望むこと～特別養護老人ホームの看護管理者が実施したプロジェクト研究に参加した経験から～  
春元 光彦氏（社会福祉法人凌雲堂 特別養護老人ホームしらふじ 介護主任）

3) 介護施設における看護の専門性確立に向けて現場が求めている研究

小玉 幸佳氏 (CNS) (特別養護老人ホームくやはら)

4) 老年看護学研究における実践者と研究者との協働のポイント

～介護施設における IPE・IPW を推進した経験から～

大塚 眞理子氏 (埼玉県立大学)

- ・ 定 員 : 60 名 (定員になり次第, 受付終了)
- ・ 参加費 (当日払い) : 日本老年看護学会 会員 1,000 円、非会員 3,000 円
- ・ 申込み方法 : 学会 HP (<http://www.rounenkango.com/>) より所定の申込書をダウンロードのうえ、E-mail ([houmon-kango@chiba-u.jp](mailto:houmon-kango@chiba-u.jp)) または FAX (043-226-2448) にてお申込みください。

\*.-----\*.  
日本老年看護学会第 19 回学術集会のご案内  
\*.-----\*

- ・ 日 時 : 2014 年 6 月 28 日 (土)・19 日 (日)
- ・ 会 場 : 愛知県産業労働センター ウィンクあいち
- ・ 一般演題等申込み期間を延長したところ、一般演題 201 題、交流集会 8 題の応募がありました。
- ・ 事前の参加申込みの締切は 2014 年 5 月 15 日 (木) までです。  
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

※第 19 回学術集会 HP : <http://www.cs-oto.com/rounenkango19/>

\*.-----\*.  
各種情報提供  
\*.-----\*

◆◆日本学術会議看護学分科会・JANA シンポジウム

「ケアサイエンスの必要性と看護学の役割」のご案内◆◆

- ・ 日 時 : 2014 年 3 月 1 日(土)14 時～16 時
- ・ 場 所 : 日本学術会議講堂  
(東京都港区六本木 7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 番出口)
- ・ 入場無料 ・ 参加申込み不要

- ・ プログラム 司会：太田喜久子、南裕子
  - ①「いのちへのケア 植物環境学から見るケア」  
古在豊樹（千葉大学名誉教授、日本学術会議連携会員）
  - ②「<生ある者>の相互性へーケアと科学」  
中岡成文（大阪大学大学院文学研究科教授）
  - ③「ケアの直接的実践としての看護」  
川嶋みどり（日本赤十字看護大学客員教授）
- ・ 詳しくは、日本看護系学会協議会 HP (<http://janpu.or.jp/>) をご覧ください。

◆◆日本看護系学会協議会（JANA）事務局より◆◆

- ◇「医療安全全国共同行動：いのちをまもるパートナーズ」からのお知らせ：  
「医療安全全国フォーラム 2013 講演記録集」をアップしました。  
講演と発表のほか、講演スライドも閲覧できます。  
<http://kyodokodo.jp/doc/event/131122/kirokusyu.pdf>
- ◇「人工呼吸器安全使用のための指針 第2版」をアップしました。  
HPの支援ツール一覧、行動目標5のbより、ハウツーガイドを参照の上、閲覧してください。  
[http://kyodokodo.jp/index\\_b.html](http://kyodokodo.jp/index_b.html)
- ◇フォーラム／セミナー情報
  - ・ 3月14日（金） 東京／第12回ヒューマンエラー防止手法セミナー  
（株式会社NSD ビジネスイノベーション主催）
  - ・ 3月15日（土） 東京／ヒューマンエラー防止手法セミナー アドバンスコース  
（株式会社NSD ビジネスイノベーション主催）

◆◆アジア圏における看護職の文化的能力の評価と能力開発・臨床応用に

関する国際比較研究ワークショップとシンポジウムのご案内◆◆

（主催：千葉大学・看護実践研究指導センター平成25年度プロジェクト関連事業）

- ◇モース先生によるミックスド・メソッド 国際ワークショップ  
～ 質的アプローチと量的アプローチによる1.5倍の接近法 ～  
日 時：平成26年3月8日（土）9：30～16：30  
場 所：千葉大学西千葉キャンパス けやき会館大ホール  
講 師：Dr. Janice Morse(米国ユタ大学教授、GQHR 理事長)  
Dr. Pakvilai Srisaeng(タイ王国コンケン大学大学院看護学研究科長  
UNFPA & WHO, Lao PDR アドバイザー)  
その他：逐語通訳つき 参加無料 定員100名

◇国際シンポジウム 「看護職の文化能力ー病院の国際化に向けて」

日 時 : 平成 26 年 3 月 9 日 (日) 9 : 30~17 : 00

場 所 : 千葉大学西千葉キャンパス けやき会館大ホール

その他 : 逐語通訳つき 参加無料 定員 200 名

※問合せ・申込み等の詳細は, HP (<http://www.promed-com.jp/ancc/>) をご覧ください。

+.....+

< 発 行 >

日本老年看護学会 総務広報

担当 : 北川 公子 (共立女子大学看護学部)

+.....+

-----  
※このメールは 2014 年 2 月 13 日現在のご登録情報をもとにお送りしております。

配信先の変更や停止については、下記事務センターまでご連絡ください。

※このメールの発信元アドレスは、送信専用アドレスです。本メールへの返信はできません。

お問い合わせは、下記学会事務センターのアドレスにお送りください。

+.....+

<発信元>

日本老年看護学会事務センター

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 株式会社ワールドプランニング内

Tel:03-5206-7431 Fax:03-5206-7757 E-mail:[rounenkango@nqfm.ftbb.net](mailto:rounenkango@nqfm.ftbb.net)

学会 HP : <http://www.rounenkango.com/>

+.....+